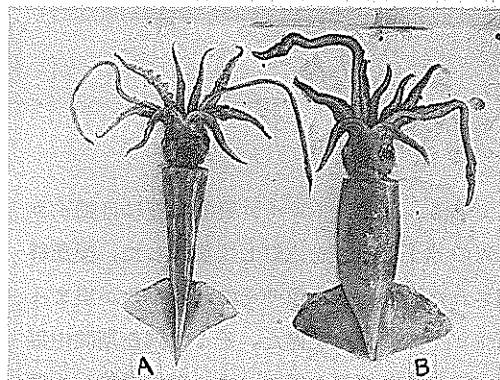


# スジイカについて

当 真 武  
当 真 嗣 誠

トビイカ資源調査中、図1に示すようなイカが漁獲された。SASAKI(1929)によるとスジイカ



Symplecteuthis Luminosa SASAKI

であることがわかった。この種についての琉球近海からの報告は少なく、浜部・工藤・通山(1970)がSt. 12で漁獲したとあるが、それより以南についてはみあたらない。そういう理由で同種についての測定結果の概要を報告する。

調査船 くろしお (21.44t) (100HP)

図 南丸 (159.3t) (400HP)

A: *Symplecteuthis luminosa* SASAKI スジイカ

B: *S. oualaniensis*(LESSON) トビイカ

## 測定結果

No.	外套長mm	重量g	性	嚔卵腺長	卵巣重量	胃内容物	採集年月日・位置	備 考
1	164	96	♀	-	-	ウロコ骨片	1971年6月29日 E 26°33' N 126°57'	喜屋武沖 (くろしお)
2	143	75	♀	4.65	10.57	ウロコ骨片	St. 6 1971年6月27日 E 26°08' N 127°05'	水温 28.1°C
3	173	110	♂	-	-	-	St. 6	久米島沖 (図南)
4	158	-	♀	-	-	-	1971年6月13日 St. 5	久米島沖 (図南) 水温 27.7°C

- (1) 琉球近海におけるスジイカはトビイカとほぼ同海域に生息している。
- (2) 雌雄の判別は、雄の第4左腕の $\frac{1}{4} \sim \frac{1}{3}$ にかけて吸盤がないので比較的容易である。
- (3) 胴体は矢じり状で外套幅は先にいくにつれて尖っている。またトビイカに比べやや小型である。
- (4) 漁獲量は少なくトビイカとまれに混獲される程度であるので現在のところ漁業上重要な資源にはならない。